

第6年 組 社会科指導と評価の案

日時：平成16年12月3日(金)公開1
 場所：北小学校6年 組教室(北舎4階)
 授業者：瓜田 恵美

1. 単元名 明治維新をつくりあげた人々 (7/11)

2. 本時の目標

梅村速水が戻れば殺されるかもしれない騒動が起こっている飛騨に政府の命令を破ってまで戻ってきたのは、県知事として赴任した速水の、飛騨を豊かな国にしたいという決意、自分に取り組んできたことへの自信、全国が激動している中で自分も活動しているという気概があったからであるということに気づく。

3. 本時の評価規準

思考・判断

梅村速水が騒動の起こっている飛騨に戻ってきた理由を、新しい世の中への理想、政策への自信、全国的な動乱期だったという視点から考えている。

4. 本時の展開

過程	学習活動	学習集団	子どものつまずきに応じた指導・援助
つかむ	<p>騒動が起こっている飛騨に梅村速水が戻ってきたという事実から意識のずれをおこす。</p> <p>S. 自分たちの生活が苦しくなり(山方米・人別米制度廃止、商法局の設置、郷兵隊)速水に反発していたから、速水は帰らなかったらう。</p> <p>S. 政府からも帰ってはいけなと命令が出ているから、帰らなかったと思う。</p> <p>S. 行けば殺されるかもしれないのに、どうして速水は政府の命令を無視してまで飛騨に戻ったのらう。</p> <p>梅村速水が、騒動が起こっている飛騨に戻ったのはどうしてらう。</p>	<p>学習集団全体</p>	<p>飛騨に戻ると殺されるかもしれないという実感が持てないため、課題に結びつかない。 (発言、学習の様子で評価)</p> <p>鳶口や火縄銃、鎌などの実物を、農民が一揆を起こる様子や大きな絵で示し、課題について考える足場にする。</p>
追究する	<p>課題に対してその理由を予想する。</p> <p>S. 知事としての責任感からだと思ひます。</p> <p>S. 人々を説得できると思ひたのかな。</p> <p>資料から課題追究をする。</p> <p>資料1 知事としての決意の短冊 資料2 速水の飛騨での功績の抜粋 資料3 当時の各地の騒動</p> <p>資料別に小集団でも交流する。</p>	<p>全体</p> <p>個人小集団(資料別)</p> <p>(ペア)</p>	<p>資料が選択できないために考えがもてない。 (交流の様子、ノートで評価)</p> <p>どの資料で調べたいか一緒に考え、そこから速水の思いを一緒に見つける。「この資料から、速水のどんな思いがわかるかな」などの助言を行う。</p>
深める	<p>調べたことをもとに全体交流をする。</p> <p>短冊資料より(資料1)</p> <p>S. 飛騨を新しい時代の中で豊かな国にしていこうという強い思いがあつて、速水は途中で投げ出すことができなかつたんだと思ひます。</p> <p>S. あきらめたくなかつたから、自分の力で何とかしようと思ひ戻ろうとしたと思ひます。</p> <p>功績を書いた資料より(資料2)</p> <p>S. 飛騨の人のことを思つてやつたんだから、きっとみんなに認めてもらえると考へたから戻つたと思ひます。</p> <p>S. 飛騨の人と話し合おうと思ひ、説得をするために帰ろうとしたと思ひます。</p> <p>全国的な騒動の資料より(資料3)</p> <p>S. たくさんの地域で同じように新しい世の中をつくるためにがんばっているんだ、自分だけではない、という思いから飛騨に戻つたと思ひます。</p>	<p>全体</p>	<p>資料の内容に気付くが、それが課題と結びつかない。 (ノート、交流の様子で評価)</p> <p>「戻れば殺されるかもしれないことはわかつていたし、戻ってはいけなという命令まで出ていたのに戻ろうとした」ことを問い返し、そうまでして戻つた速水の気持ちを一緒に考へる。</p>
まとめる	<p>子孫の沼田良知さんの話から、自分や仲間の考へを確かなものにする。</p> <p>梅村速水は水戸弁でいう「水戸っぽ」だつたと思ひます。水戸っぽとは一本気で悪いことを徹底的にやつつける人のことをいひます。速水も、一度やると決めたことは最後までやり通す人だつたと思ひます。このことは新しい世の中をつくらうとする精神につながつていひます。</p> <p>遺愛の碑の写真と内容を示し、飛騨の人たちの気持ちも知る。</p> <p>本時のまとめと自己評価をする。</p> <p>梅村速水が騒動が起こっている飛騨に戻つてきたのは、自分が一生懸命取り組んできたことに自信があり、飛騨の人と一緒に新しい豊かな国をつくりたかつたからということがわかりました。</p>	<p>全体</p> <p>個人</p>	<p>資料3から課題につながる考へが持てない。 (ノート、交流の様子で評価)</p> <p>「騒動は飛騨だけだつたのかな」などの切り返しの発問で、全国の動きにも目を向け、考へにつなげることができるようにする。</p> <p>本時のまとめができないでいひる。 (ノートで評価)</p> <p>板書を確認させたり、沼田さんの話を振り返らせたりして、本時からとらえさせたい内容をキーワードを使って書くように促す。</p>